地域の防災力の向上に向けて！

はとがやまちなみ防災フェアー
報告書

『これからの防災まちづくり！共に歩き語り隊！』
第１１回「鳩ヶ谷市無料住宅相談会」

平成２２年３月２２日

（社）埼玉県建築士事務所協会川口支部
支　部　長　　竹ノ谷　敦夫
まちづくり委員長　髙杉　雄一
まちづくり推進室長　佐藤　啓智

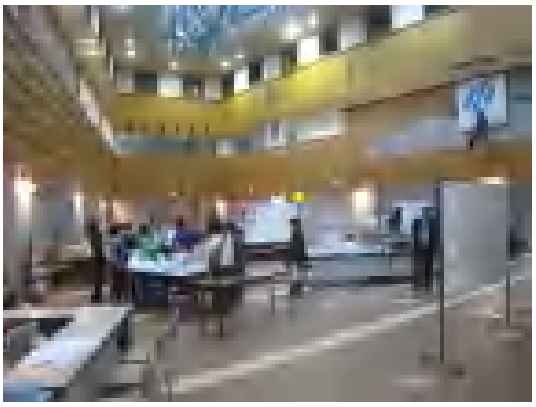
はとがやまちなみ防災フェアーの開催！

今回で１１回目となる**「我が家の耐震相談会」**は、３月２２日（振・月）に**【はとがやまちなみ防災フェアー】**の一環として鳩ヶ谷市役所１階中央ロビーで開催されました。

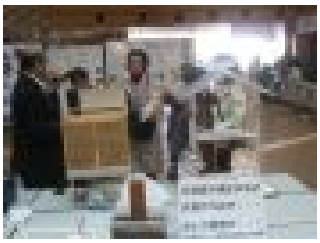
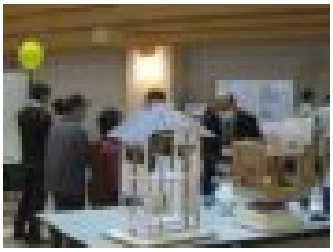
早朝から設営準備です。耐震模型等の準備したり展示パネル等をはり、相談の受付準備をおこないます。まだ設営中でありましたが相談者が訪れ、取り急ぎ相談を受け付けます！

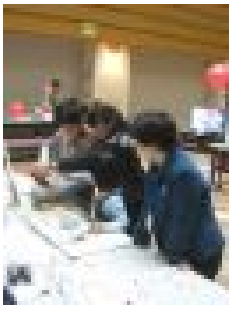
熱心に相談される住民の方！建物の劣化の問題及耐震性についてのご相談であります。不安になっている思いをまず、丁寧に聞き取りをおこない専門家として的確なアドバイスを心がけます。

本日無料建築相談会が開催されていることを知らせるために、正面入口及び受付前入口自動ドアのガラス等に看板を貼りました！

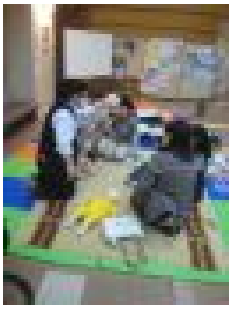


賛助会員の㈱フクダさんには、筋違等耐震壁の重要性を学べる模型と液状化の実験モデルをさらに改良して頂きました

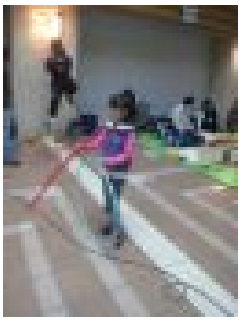





AED 等の訓練です。ことばが不自由な方の為に手話を交えての訓練です。
子供達も熱心に訓練に参加しております!



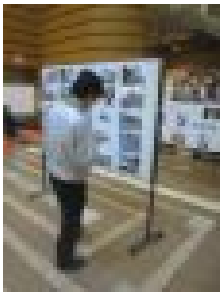
耐震性に優れた樹脂配管で、輪を作ると、なんとこれがフラフープに！
賛助会員の大下産業：益田氏が全面的に協力していただきました。



子供達は大喜びです。それに釣られて大人もなんだろうと興味を持ち説明を聞きに来ます！うーんなるほどと樹脂配管の効用に耳をかたむけます！
樹脂配管は、大変丈夫で管接続が簡単かつ短時間で出来ます。少し値段は高めですが、お勧め製品です！
フレキ管(ジャバラ状になっている配管)を振り回すと楽器に変身です！
子供達は、フラフープをしながら、フレキ管を振り回して音を出して遊んでいます。なんと縄跳びみたいに飛んで遊ぶ子！ひとりで三個ものフラフープをまわす子がいたりして大盛り上がりです。

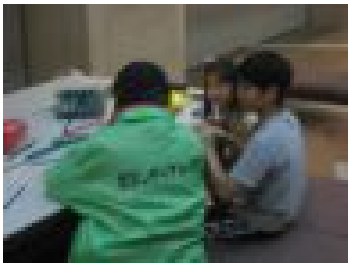
樹脂配管を住宅に利用すれば色々な可能性が見えてきます！検討してみる価値はありです。

展示コーナーにもたくさんの方々が訪れました。
阪神大震災及び中越地震の建物の写真には皆さん注目しておりました。
建物が壊れて人の命を奪ってしまうことの悲惨さを思い出させてくれる写真の数々であります。

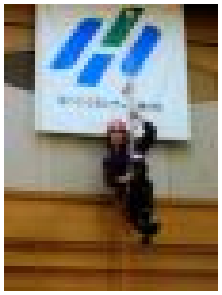
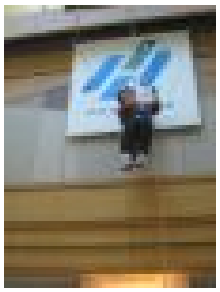
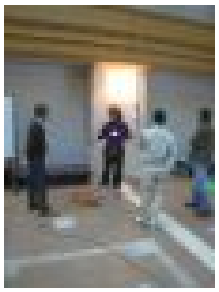


紙ぶるるとストローハウスの製作コーナーも大人気！
楽しみながら、建物の構造を学べます！

◎他にも楽しみながら学べる防災グッズがたくさんあります！

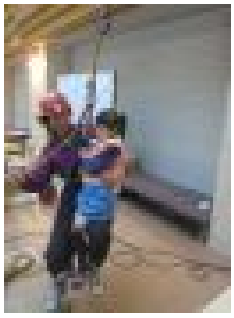


◎ツリークライミングのコーナーも大人気！
ツリークライミングとは、ロープや道具を使って木に登るレクレーションです。道具を工夫して登れば、高い木だって登ることが出来ます。ゆえに建物などは簡単に登ることが出来るのです。

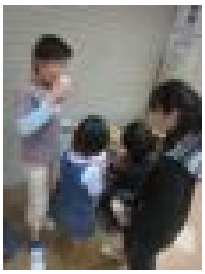
実演して頂いた柴山氏は、ツリークライミングジャパンの認定ツリークライマーであり、森で山岳レスキューの活動をする傍ら、子供達に木登りの楽しさを教えている先生であります。
スルスルと吹き抜け空間を登っていく様は皆さんの注目の的であります。
防災にとりましても、ロープワークを学ぶことは湯意義なことでしょう！
楽しく学ぶ！そんな取り組みを普段よりおこなっている方々です。

さー子供達もブランコ体験です！
今回は、ロープを使って登る訓練プログラムはできませんでしたが、ゆらゆらとロープにぶら下がる楽しさは体感していただきました！



被災地等での救助活動に有効な手段になりうるでしょうね!
私も講習に参加してみたくなりました!

さて、お昼も近づき、皆さんで炊き出し訓練です。アルファー米の炊き出しです。お湯を入れてかき混ぜるだけでご飯が出来ます。



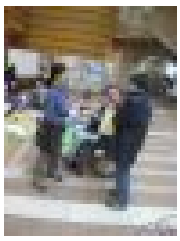
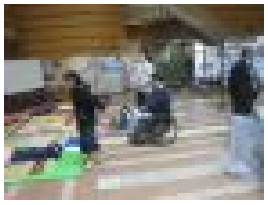
五目ご飯と、梅粥及び缶詰が配給されます？

子供達には、特別にお菓子とジュース付です！

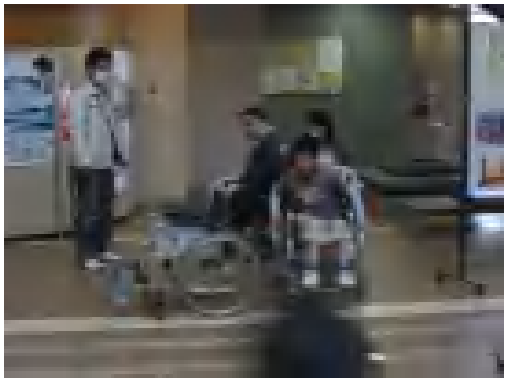
大人たちには、はとがやのお水が配られます！

食事が済めば、またまた遊びだす子供達！
本日、この会場に来た子供達はラッキーですね！
楽しく遊びながら、色んなことを学べる１日であったのではないでしょうか?

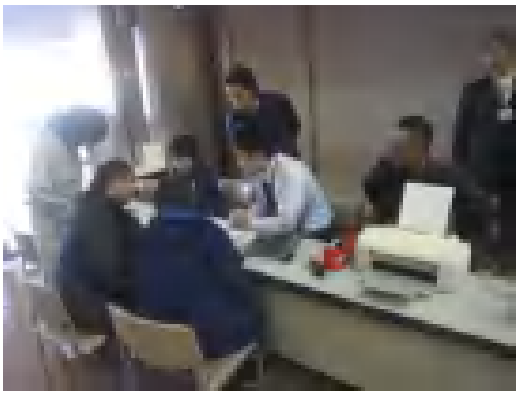
車椅子の体験コーナーもあります！

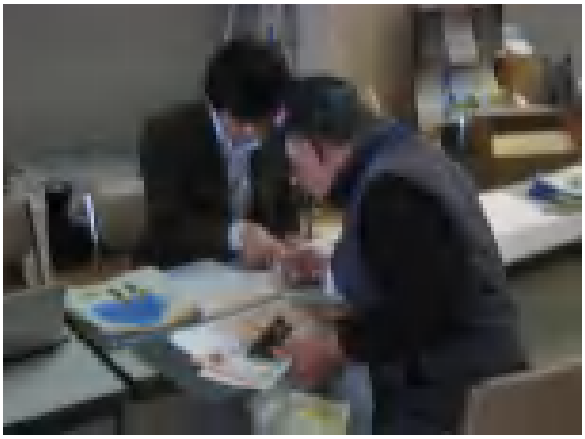
車椅子当事者の建築士と一緒に外に出て検証活動をおこなう子供達。。。。。。
子供はほんとに凄い！ 何でも楽しく遊び感覚で学びます。



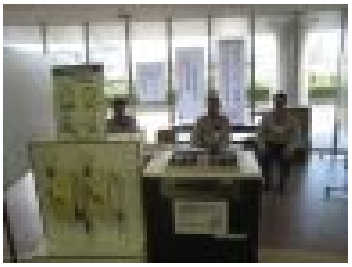
子供のいきおいに押され？大人達の相談コーナーも熱気むんむん？
相談をするほうも、受けるほうも、真剣です！



耐震性の重要性に耳をかたむける住民の方！
図面はなくても聞き取りながら、簡易診断を行います。
相談受付者として、私達建築士の地道な活動が住民の皆様にお役に立てれば幸いと精神誠意、わかりやすく話すように心がけ、できるだけ専門的な言葉を使わないように心がけてご説明いたします。



１階玄関エントランスホールでは、企業の方々がブースを設けて頂きました



建築金物の展示も行い、賛助会員の住宅構造研究所の方にも耐震補強の二分の１模型を持ち込んで頂き、耐震補強の説明をしてもらいました。
東京電力及び大東ガスの方々も展示コーナーを設置して頂き住民の皆様に色々説明をしていただきました。

市役所前には、起震車を配備し、消防レスキューの方々のご協力のもと、訪れる方に大地震を体験して頂きました。また火災報知機等の模型やたて看板の設置もしていただきました。

お昼近くになり、まちなみ検証を行った住民代表の方々が続々と鳩ヶ谷市役所に到着いたします。　皆様お疲れ様でした!

子供たちや来場する方々は、大変興味をもたれながらＡＥＤ等や紙ぶるる及びストローハウス製作に参加されていました。その内容も盛りだくさんで大変充実した内容であったと思われます。少し残念であったのは、広報不足により、自治会を通して、強制参加住民（100 名）以外の方の来場者が思ったより少なく、市民ロビーで行う相談会及び研修学びグループのお手伝いで参加いただいた皆様におかれましては少し物足りなかったとおもわれます。

お彼岸の期間中でもあり、連休最終日のせいもありますが、来場者は 50 名ぐらいいらっしゃいましたが、実際に無料住宅相談のためにこられた方はすくなかったのが現状です。

　来年は広報にもっと力を入れるべきと痛感いたしました。
そして、相談会の開催時期の選定の問題もあり、事前の広報活動の見直しもよく考えたほうが良いと感じました。

地域の防災力の向上に向けて！

『これからの防災まちづくり！共に歩き語り隊！』

・・・・水先案内人の探検隊活動報告・・・・

はとがやまちなみ防災フェアー　２０１０

鳩ヶ谷市５地域（桜町・里・辻・本町・坂下町）住民参加型防災研修プログラム

2010.3.22（月）

鳩ヶ谷市役所市民フォーラム

『明日はわが身、危険に備える』

名古屋大：福和伸夫教授

住民と専門家によるまち歩き、住民の発表と福和教授の講評・講演を開催！
地域社会の人々が連携し、共に楽しく防災を学ぶプログラムです。

主　催　：　鳩ヶ谷市都市建設部　まちづくり推進課

企画・運営：（社）埼玉県建築士事務所協会川口支部

「地域の防災力の向上に向けて！」

はとがやまちなみ防災フェアー

2010.3.22

『これからの防災まちづくり！共に歩き語り隊！』

日時：2010 年３月 22 日（月・振休）　集合場所に９時３０分集合
時間：まちなみ検証　出発 10：00　～　終了 14：00　講演会　14：00　～　15：30
場所：各５地域の集合場所に集まり、事前レクチャー後各地域のまちなみ検証出発
※各地域集合場所　（A）桜町：桜町小学校、（B）里地区：里小学校、（C）辻：西公民館、
（D）本町：鳩ヶ谷中学校、（E）坂下町：中央公民館

1 プロジェクトテーマ

今般、【はとがやまちなみ防災フェアー】と銘うち、市民の皆様方にわがまち鳩ヶ谷を再認識して頂くための、住民参加イベント（講演会及び防災まち歩き等）を開催いたします。
　大地震はいつ来てもおかしくないといわれています。しかしながら私たちが住むまちは安全でしょうか？ 地震災害に強いまちとはどのようなまちなのでしょうか？
いざ､大地震がきたら私たちのまちはどうなるのでしょうか？ そのとき私たちは何をしなければならないのでしょう．．．　そうならないために今から準備できることとは．．．
そんな疑問を、皆で一緒に語り合い、専門家のアドバイスをもらいながら、はとがや市のまちなみ検証を行い、各自防災意識の向上を目指すプログラムです。

2 『共に歩き語り隊！』の活動内容とその目的

このイベントは、私たちが住むまちなみを歩きながら検証し、共に語り合い、専門家の話を聞きながら地域防災及び地震に強いまちづくりを共に学んでいくものです。
本日の探検隊活動は、地域の自主防災活動をしている住民皆様を中心に、防災の気付きを学ぶプログラムであります。建築の専門家及び行政担当者と自分の住む街を一緒に歩き、共にこれからの防災まちづくりについて語り合う探検隊活動であります。
仮想避難訓練もかね、想像力を駆使しながら、普段と違った立場･目線による検証をおこないます。その後、一緒に探検活動をした参加者の皆様と共にワークショップ型式の懇談を行い、各々の意見をまとめ上げ、気付きの発表を致します。
気付きの発表後『明日はわが身、危険に備える』と題し、防災の専門家である大学の先生に気付きの講評と講演を頂くことにより、楽しみながら新たな気付きを目指します。

普段はなかなか意識しないとみえてこない所を、想像力を駆使し、楽しく探検隊活動をしながら感覚を研ぎ澄まし、まちなみの色々なポイントを発見していきましょう！
どうしても悪いところばかりに目がいきがちですが、是非良い所も探し出して下さい。
わがまちは、こんな良い所もあったんだと､､､
水先案内人（建築専門家）を携えて、さー探検に出発です。

3 『共に歩き語り隊！』の探検コース説明

各地域の水先案内人（建築専門家）のレクチャーのもと、探検コースの概要説明といつおこるかも知れない大地震に備えてどのようなことに注意をしなくてはならないかの説明を受け、気付きを探ります。

4 タイムスケジュール概要

	9:30 本日の流れ（概要・コース説明） 【３０分】 水先案内人（建築士）による 10:00 共に歩き語り隊活動開始！ 【９０分】 各地域まちなみ検証スタート 11:30 昼食（非常食試食） 【６０分】 皆様と共に食事をしながら懇談会 （市役所食堂にてグループ別） 12:30 付箋と気付きのまとめ 【６０分】 模造紙等を利用しまとめ上げる 13:30 全体のまとめ発表 【３０分】 各地域持ち時間５分（市民フォーラム） 14:00 各地域発表の講評と講演 【９０分】 講演「明日はわが身、危険に備える」 名古屋大学：福和教授（市民フォーラム） 15:30 探検隊活動終了

5 『共に歩き語り隊！』の探検隊出発

鳩ヶ谷市の特色のある各５地域！
さて、まちなみ検証によりどんな気付きがうまれるでしょう？

6 『共に歩き語り隊！』まとめと発表！・・・食事しながらの（非常食）懇談会

はとがやのまちなみを隅々歩き、皆さんで検証しました。お疲れ様でした！

さあ、どうしましょう？食事をしながら色々と懇談しましょう！

アイデアの発掘！　ＷＳ（ワークンショップ）型式の意見交換

（イ） 付箋を整理･気付きを整理 （６０分）

問) 安心なまちなみ、活力があり魅力のあるまちなみとは？

・ 『共に歩き語り隊！』の探検隊活動で気が付いたことを、今後にどのように活かしていけるでしょうか。みんなで知恵を出し合いましょう。

※鳩ヶ谷市役所行政ほか各関係者も同席して頂き、皆様が普段なかなか言えないことも活発に意見交換して頂きたいと思います。
そのなかで、今回の『共に歩き語り隊！』の探検隊活動による気付きを自分自身の中で整理を行い、自分達がまずできる事、やれる事、やっていることの再確認と新たな気付きの発掘して頂きたいと思います

☆ （気が付いたことが）なぜ良いのか、または悪いのか考えてみましょう

☆ 簡単に出来る改善策を考えてみましょう

☆ 自分だったらこうする！こう出来る！

7 全体のまとめ発表・・・・・・・・・・・・・・・（市民フォーラム）

各班別に、今回の『共に歩き語り隊！』活動により気づいたことを発表して頂きます。各班持ち時間は、5 分間！　短い時間に如何に発表するか？

さて、皆さんのうでの見せ所です！

8 各班別の発表の講評と全体感想、そして講演会・・・・（市民フォーラム）

皆様の発表を聞いて頂いた、名古屋大学の福和教授より講評と感想を頂きます。

福和教授は、専門分野は地震防災、地震工学、耐震工学です。
普段より、「社会の人達と連携した楽しい防災」に取り組んでおられます。
今般、【はとがやまちなみ防災フェアー】の締めくくりに、福和教授より講演を頂きます。

題して、『明日はわが身、危険に備える』

9 『これからの防災まちづくり！共に歩き語り隊！』探検隊活動終了

皆さんどうでしたか？
本日のプログラムは、皆様のお役にたてたでしょうか？
『共に歩き語り隊！』の探検隊活動を楽しんで頂けたでしょうか？
本日の探検隊活動を通じでの新たな気付きが、普段の生活及び自冶会活動に役立つことを願いながら、これにて我々水先人の役目は終了いたします。
ご面倒でも、お手元のアンケートに本日の感想の記入をお願いいたします。
本日は、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

なお 1 階ロビーにて、（社）埼玉県建築士事務所協会川口支部の面々が住宅無料相談を受付ております。楽しく体験しながら学べる催しも開催しておりますので、お帰りの際は是非、参加してみてくださいませ。

【はとがやまちなみ防災フェアー】に参加して

参加地域　Ａ桜町、Ｂ里、Ｃ辻、Ｄ本町、Ｅ坂下町

年齢　　才，　職業　　，　性別　男・女

『これからの防災まちづくり！共に歩き語り隊！』

①まちあるき活動は良かったですか？(各地域別まちなみ検証)

良かった
良かったが疲れた
疲れただけである

②意見交換会は良かったですか？(ワークショップ型式の意見交換)

充実した意見交換ができた
物足りなかった
不満である

③気づき発表は、うまくいきましたか？

思うようにプレゼンができた
もう少しうまくやりたかった
全くうまく出来なかった

④講評及び講演会はどうでしたか？『明日はわが身、危険に備える』

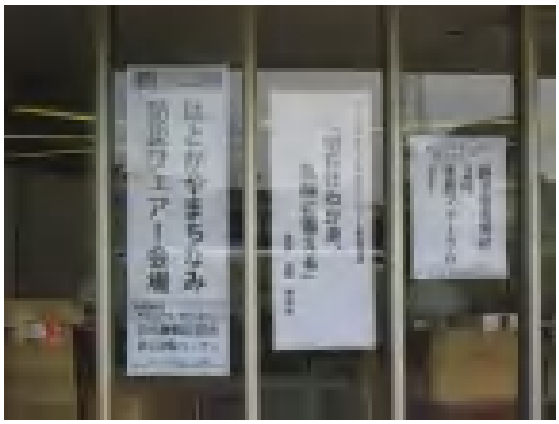
大変わかりやすかった
防災意識の気付きが生まれた
少し難しかった

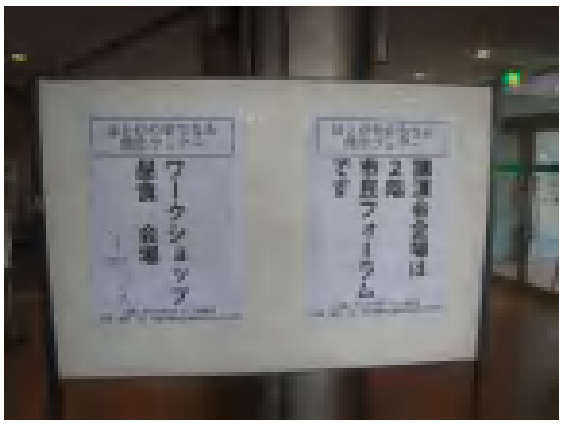
〇その他、気付き等ありましたら、ご自由にご記入くださいませ。

今般**【はとがやまちなみ防災フェアー】**は、例年開催している無料住宅相談だけでなく、市役所内にて**体験型の防災学びコーナー**を準備いたしました。

そして、市民の皆様方にわがまち鳩ヶ谷を再認識して頂くための、住民参加型のイベント（講演会及び防災まち歩き等）を開催しました。

大地震はいつ来てもおかしくないといわれています。しかしながら私たちが住むまちは安全でしょうか？ 地震災害に強いまちとはどのようなまちなのでしょうか？いざ、大地震がきたら私たちのまちはどうなるのでしょうか？
そのとき私たちは何をしなければならないのでしょう...　そうならないために今から準備できることとは...
そんな疑問を、皆で一緒に語り合い、専門家のアドバイスをもらいながら、はとがや市のまちなみ検証を行い、各自防災意識の向上を目指すプログラムです。





このイベントは、私たちが住むまちなみを歩きながら検証し、共に語り合い、専門家の話を聞きながら地域防災及び地震に強いまちづくりを共に学んでいくものです。その探検隊活動は、**『これからのまちづくり！共に歩き語り隊！』**と称し、地域の自主防災活動をしている住民皆様を中心に、防災の気付きを学んで頂くプログラムであります。
建築の専門家及び行政担当者と自分の住む街を一緒に歩き、共にこれからの防災まちづくりについて語り合う探検隊活動であります。
仮想避難訓練もかね、想像力を駆使しながら、普段と違った立場･目線による検証をおこなってきた皆様が、これから、昼食をとったのち一緒に探検活動をした参加者の皆様と共にワークショップ型式の懇談を行い、各々の意見をまとめ上げ、気付きの発表を致します。
気付きの発表後**『明日はわが身、危険に備える』**と題し、防災の専門家である名古屋大学の福和伸夫教授に気付きの講評と講演を頂くことにより、楽しみながら新たな気付きを目指します。

ワークショップ会場は、7 階食堂で開催することとなりました。

食堂で、非常食(アルファー米)とビスケット及び缶詰とはとがやの水が配られます！
非常食も意外と美味しいですね！

休む間もほとんどなく、ワークショップ型式の意見交換に移ります。
付箋に気付きを記入しながら、撮影してきた写真をもとに、模造紙にまとめていきます。

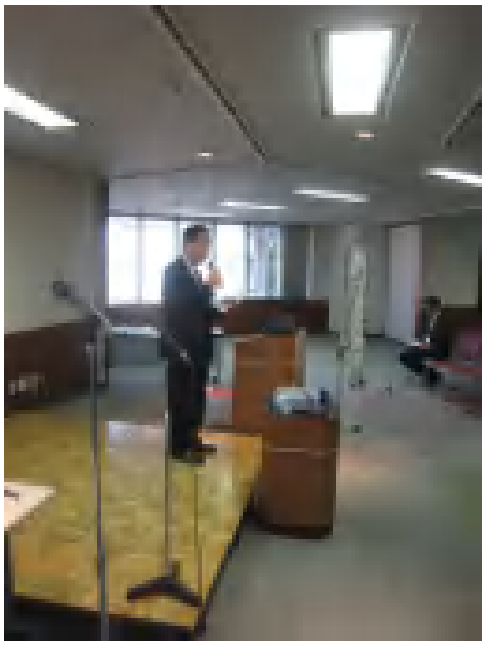
ワークショップをおこなうのが初めてという方が多かったですが、水先案内人のリードもと、活発な意見交換が進みます。

自分達が住む町を改めて歩いてみると色んな気付きがうまれます。
そして、現状の問題点が浮かび上がってきます。

まとめの時間が少なくまだまとまりきれていない状況ではありますが、皆さん後は、発表者にお任せ！さてどんな発表となるでしょうか？

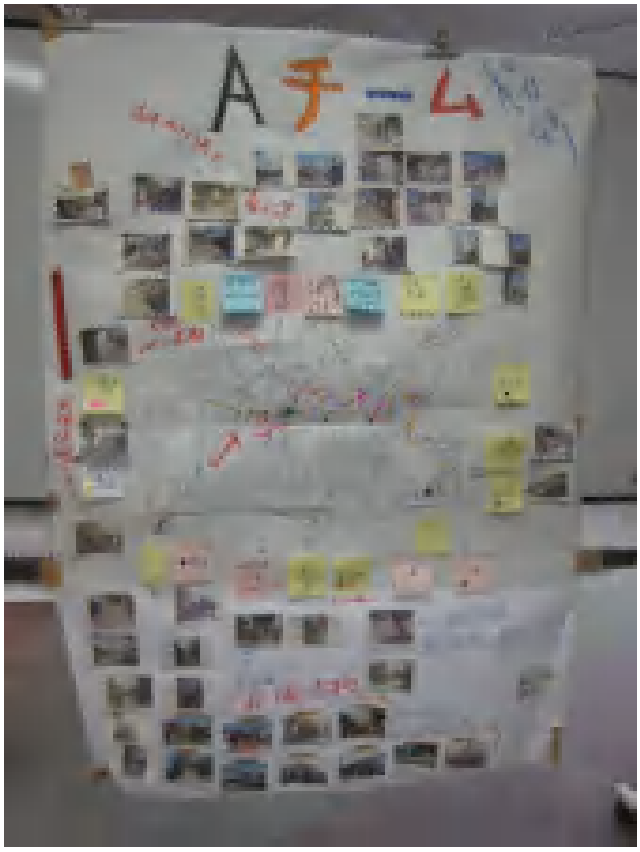
7 階の食堂から 2 階市民ファーラムに会場を移して、各班別にワークショップ型式で意見交換をした気付きの発表を致します。

それに先立ち、主催者を代表いたしまして、鳩ヶ谷市長 木下 達則 様 の代理として都市計画部長 北村 敏郎氏がご挨拶いたします

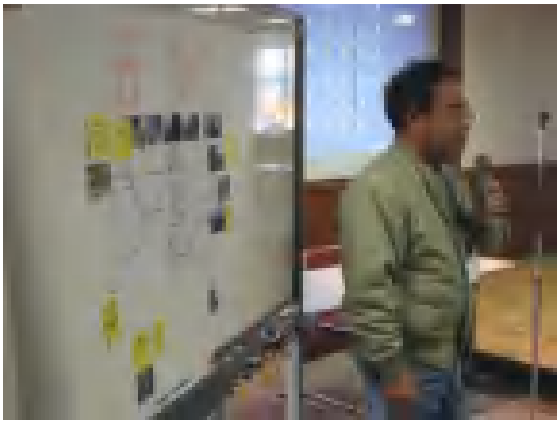


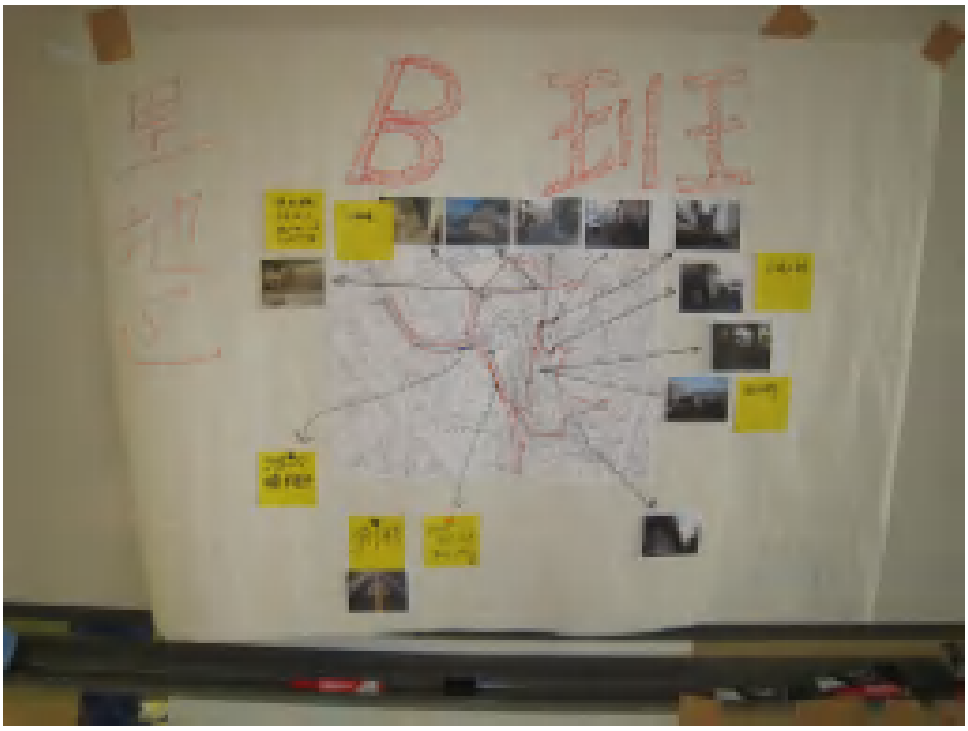
木下市長様の挨拶文を代読いたします。

さて、皆様が『共に歩き語り隊！』活動を通して気付いたことを発表して頂きます。まずＡ班（桜町地域）です。

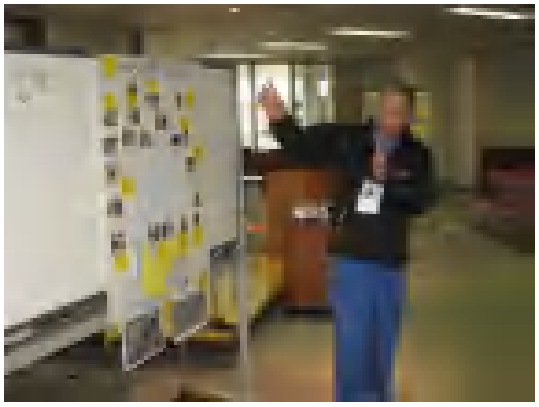


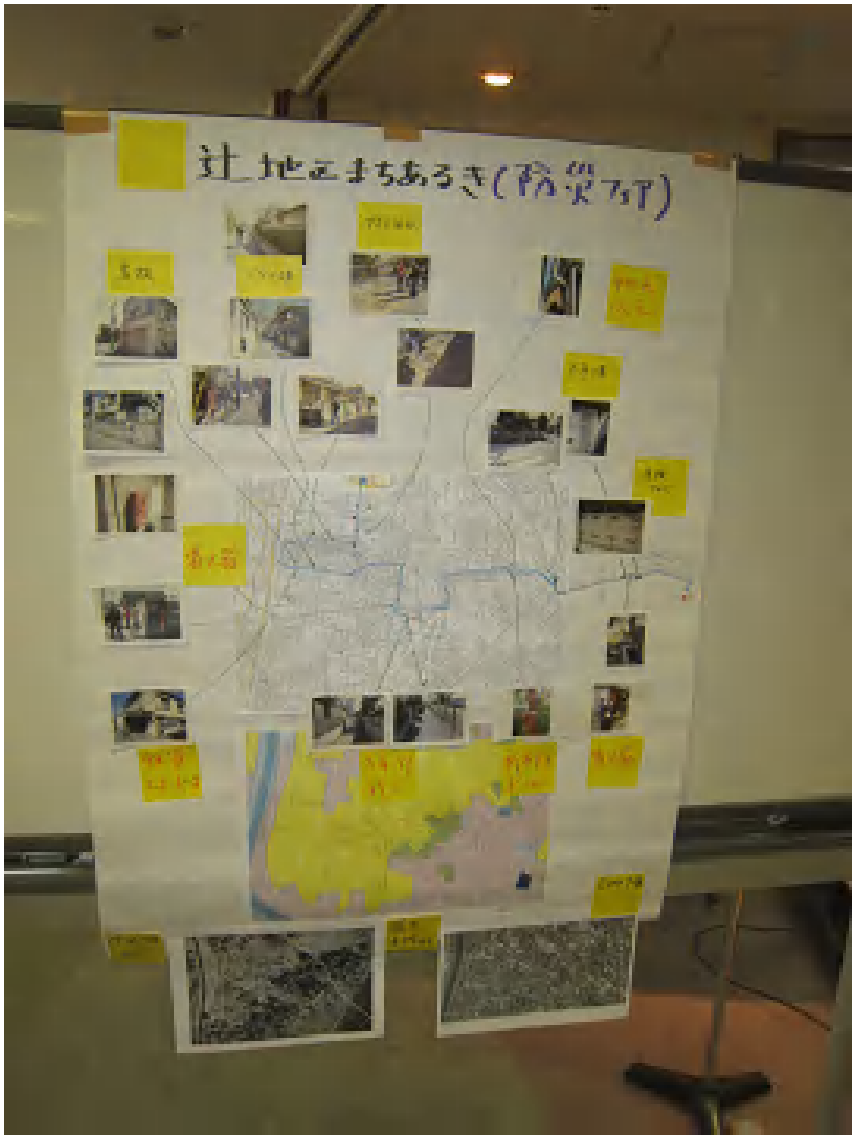
次に、Ｂ班（里地域）です。



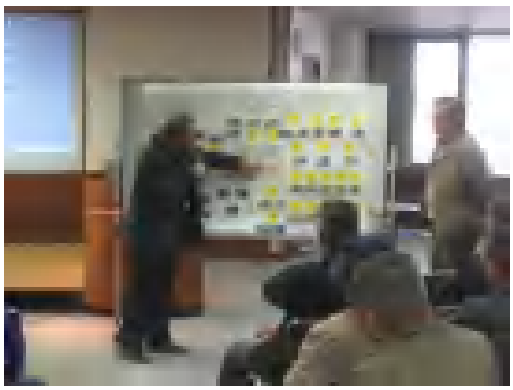


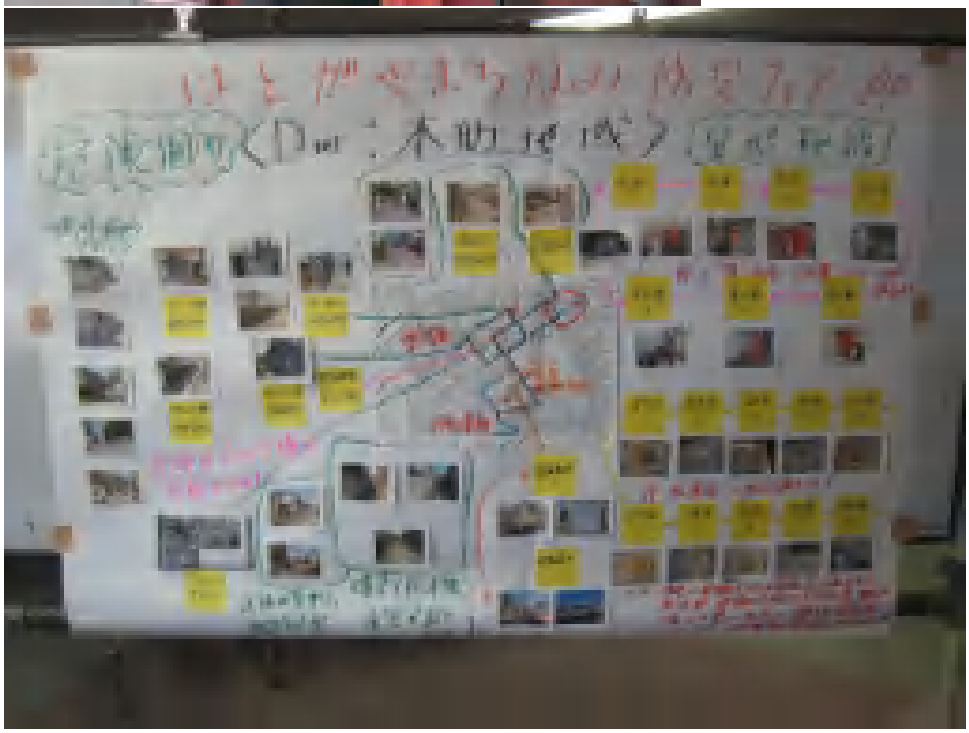
次に、Ｃ班（辻地域）です。



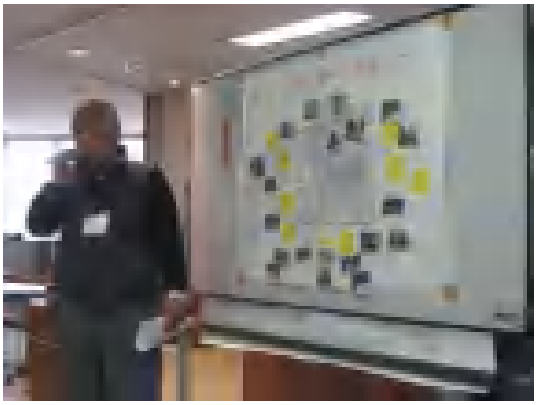


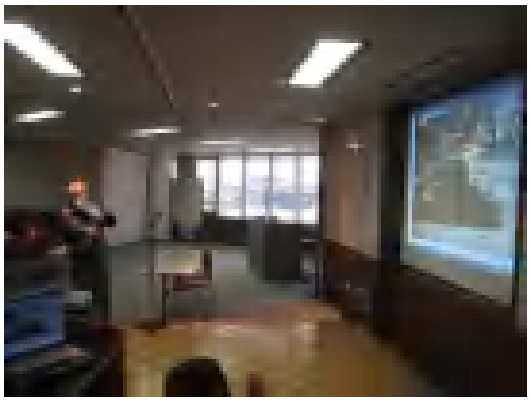
に、Ｄ班（本町地域）です。



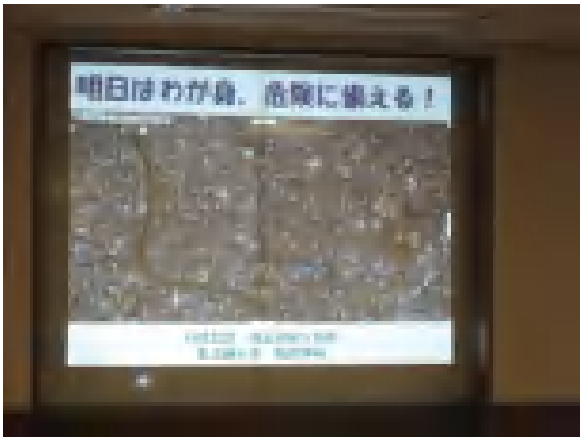


最後に、Ｅ班（坂下町地域）です。





各地域の気付きの発表後、すぐさま講師の講評と講演にうつります。
講師でいらっしゃいます名古屋大学　福和伸夫教授は、専門分野は地震防災、地震工学、耐震工学とその道では大変有名な先生であり地震博士といわれております。**「社会地域の人たちと連携した楽しい防災」**に長年取り組んでいる方であります。今般**「明日はわが身、危険に備える」**と題し、防災意識啓発を促すような講演をお願いいたしました。



先生独特な語り口で、静かにお話が始まりました。
まず、事前に地図等で調べた鳩ヶ谷という地名について
先生なりの感じたことのお話をかわきりに、すこしづつ、
そして本題に入っていきます。

早朝からまち歩きに参加し、昼食後に眠くなる皆様をおかしく楽しい話を交えながら、どんどんと先生の世界に引きづり込みます。

特色のある鳩ヶ谷市の様子を改めて皆さんに語りかけるようにお話を致し、地震を敵と考え、如何に戦っていくべきかを皆さんに説きます。

そして行政及び専門家にすべて頼ってもあてにならない！
自分で出来ることをまず行いましょう！とお話されました。

今回、皆さんが参加した「**共に歩き語り隊！**」活動（ワークショップ討論）によって、今皆さんがやっと**スタートライン**にたったこと、そして自分達が次世代の子供達の為に、自ら出来ることはやらなければならないことに気付いて欲しいと熱心に皆様に語りかけます。
皆さ～ん！
本日帰ったら家具転倒防止等、自分で出来ることをまずやろうと思う方？
皆さんがハーイと手を上げると、デジカメでパシャと撮影！
これで皆さんとお約束ができました。皆さんお約束ですからね(*^_^*)とニコっとされます。

最後には割れんばかりの拍手に送られ、先生の講義は終了いたしました。
講演後のアンケートでも、大変勉強になりました。防災意識の気付きがうまれた！次回同様のイベントがあれば、地元の若者に、そして自分の子供達にも参加させたい等の意見が多く、お陰様で**【はとがやまちなみ防災フェアー】**はとどこおりなく、大盛況のまま閉会することとなりました。
企画・運営側の我々にとっても大変勉強になった一日でありました。
地道な活動でありますが、今後も我々の活動が住民の皆様にとってお役に立てれば幸いと願っております。参加された**皆様お疲れ様でした！**
　そしてありがとうございました。**好評につき、また来年も開催する予定ですので、その節は皆様、よろしくお願いいたします！**

鳩ヶ谷市：【はとがやまちなみ防災フェアー】実施報告
まちづくり委員長　髙　杉　雄　一